

### 3. 競技運営について

#### 1) 参加資格（全国高等学校総合体育大会実施要項より）

- (1) 選手は、岐阜県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒であること。
- (2) (公財)日本バレーボール協会登録規定により、高等学校男女として有効に登録されたチーム及び選手であること。
- (3) 年齢は平成\_\_\_\_年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(註:\_\_\_\_部分は令和4年度は15である)
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校・転籍後6か月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。

#### 2) 大会参加申込時の選手登録

- (1) チームは大会参加申込時に最大18名の選手を登録することができる。申込時に登録したエントリーメンバーはその大会を通じて有効で、変更することはできない。
- (2) 参加申込書の再提出について
  - ・県大会抽選後、変更がある場合は各チーム初戦の朝、受付時に再提出可能。
  - ・地区大会・県大会ともに大会中の変更は認めない。(例:初日勝ち上がり2日目に変更)※地区大会を行わない、スプリングチャレンジカップ・選手権大会は抽選日までに地区支部長に提出する。すべてにおいて参加申込書に学校長印があるものとする。
- (3) 合同チームについて
  - ・5人以下のチームは合同チームを組むことができる。(上の大会には推薦しない。)
  - ・学校長が認めていること。
  - ・選手数が多い学校を主学校とする。(同じ場合は、監督の所属校)
    - ア. 主学校の引率責任を負える者が代表となる。
    - イ. 主学校のユニフォームを着用し、組み合わせ等の表記も主学校を先頭とする。
  - ・原則、同じ地区内で構成すること。  
ただし、以下の条件を満たしている場合は異地区の合同チームを認める。
    - ア. 定期的な練習が計画されている。
    - イ. 主学校所属地区から予選に出場する。
  - ・その他については、部顧問代表者会議において協議し決定する。

#### 3) 試合当日の構成メンバーとユニフォーム

試合当日は申込時に登録した18名の選手から12名以内のノーマルプレーヤーと、2名以内のリベロプレーヤーを構成メンバーとして試合ごとに申告し、試合を行うことができる。ただし、構成メンバーが12名を超える場合、リベロプレーヤーは必ず2名でなければならない。ユニフォームは14番までの連番が望ましい。同一選手が別の番号を着用することは避ける。

※必ず試合ごとに1枚ずつ構成メンバー表(シール)を提出すること(同じメンバーの場合でも)

#### 4) 県大会の地区代表チーム数について

- (1) 地区予選参加チーム数の変化に伴い地区代表チーム数を毎年計算し直す。  
男子の県大会参加数を24チーム、女子は32チームとする。
- (2) 地区別割当数は、下記の計算に基づく配分を原則とする。

$$\text{計算式①} = \frac{\text{男子}24 - (\text{推薦チーム}) \cdot \text{女子}32 - (\text{推薦チーム})}{\text{IH参加チーム数}} \times \text{IH地区予選参加数}$$

$$\text{計算式②} = \frac{\text{男子}24 - (\text{推薦チーム}) \cdot \text{女子}32 - (\text{推薦チーム})}{\text{新人参加チーム数}} \times \text{新人地区予選参加数}$$

$$\text{平均値} = (\text{計算式①} + \text{計算式②}) \div 2$$

(3) 算出の原則

- ・単なる県登録数だけでなく、地区予選参加チームとする。
- ・計算結果の小数点以下の扱いについては、部顧問代表者会議で審議し決定する。
- ・代表チーム数は、男女別に分けて算出する。

(4) 令和4年度の地区代表チーム数 (令和3年度の地区大会参加数からあてはめる)

令和4年度の県高校総体、新人大会は下記の通りとする。

【男子】	平均値(3年度)	代表数	【女子】	平均値(3年度)	代表数
岐 阜	7.42	7	岐 阜	11.02	11
西 濃	2.97	3	西 濃	4.69	5
中 濃	5.68	6	中 濃	5.39	5
東 濃	3.96	4	東 濃	6.33	6
飛 騨	1.98	2	飛 騨	2.57	3
県推薦		2	県推薦		2
合 計		24	合 計		32

\* 県推薦チームが出場できない場合は、該当地区に割り当てる。

5) 大会の抽選について

- (1) 大会の抽選は、部顧問代表者会議で行う。
- (2) シードについての原則は、前大会のベスト8チームをシードする。(合同チームはシードしない)
- (3) ただし、県の新人大会の第5～第8シードについては年間3大会を通してのポイント制でシードする。
- (4) 同地区校が1回戦で対戦しないよう配慮する。ただし、県推薦チームは対象外とする。

6) 各大会の競技方法について

- (1) 県高校スプリングチャレンジカップ(県協会主催、4月)

【1部】

- ・新人大会において県大会に進出したチームを男子3、女子4のグループに分け完全トーナメントを行う。
- ・男子第1シードはAグループを全日本高等学校選手権岐阜県代表決定戦1位チーム、第2シードを年間ポイントの6～8シードから抽選する。Bグループ第1シードは同2位チーム、第2シードを年間ポイントの5位のチームとする。Cグループ第1シードは同3位チームのうち年間ポイントの高いチーム、第2シードは同4位チームとする。それ以外はフリー抽選とする。
- ・女子第1シードはAグループを全日本高等学校選手権岐阜県代表決定戦1位チーム、第2シードを年間ポイントの7、8シードから抽選する。Bグループ第1シードは同2位チーム、第2シードを年間ポイントの7、8位のチームとする。Cグループ第1シードは同3位チームのうち年間ポイントの高いチーム、第2シードは同6位チームとする。Dグループ第1シードは同4位チーム、第2シードは同5位チームとする。それ以外はフリー抽選とする。
- ・会場校に配慮し抽選を行う。

【2部】

- ・1部以外の全チームを2～4グループに分け1グループを12チーム程度とし、完全トーナメントを組む。

- 各グループで2～4チームをシードする。シードの方法は、地区の順位を考慮し、部顧問代表者会議で検討し決定する。それ以外は、会場校・地区に配慮しながらフリー抽選を行う。

(2) 県高校総体兼全国・東海高校総体県予選（高体連主催、5月）

- 各地区代表チームを4ブロックに分け、ブロックトーナメント戦を行う。各ブロックの1位4チームによる決勝リーグ戦を行い代表決定する。第1日は1・2回戦、第2日は3回戦（ブロック決勝）・決勝リーグ第1試合、第3日は決勝リーグ第2・第3試合を行う。優勝チームは全国大会に出場する。
- 全日本高等学校選手権岐阜県代表決定戦の1位・2位チームを、それぞれ第1シード、第2シードとする。第3・第4シードは同3位チームのうち年間ポイントの上位を第3シード、下位を第4シードとする。同点の場合は抽選を行う。
- 第5～第8シードについては、年間ポイントの上位から4チームを点数の多い順にシードする。同点の場合は抽選を行う。・年間ポイントについては、1年間の下記大会ベスト8以上入賞チームにポイントを与える。
- リーグ戦の試合順は、トーナメントの第1シードブロックを①、第2シードブロックを②、以下同様に③、④とし、次のとおりとする。

コート	第1試合（第2日）	第2試合（第3日）	第3試合（第3日）
A・Dコート	② × ③	② × ④	③ × ④
B・Cコート	① × ④	① × ③	① × ②

- 第2、第3日で試合が連続する場合は前試合の終了から40分後に、プロトコールにはいる。
- 第3日の補助員は原則ベスト8のチームに委嘱する。
- リーグ戦における順位は、次の順で決定する。
  - ア.勝ち数
  - イ.セット率：全試合の得セットの総数を、全試合の失セットの総数で除したものが高いほど高順位とする。
  - ウ.ポイント率：全試合の総得点数を全試合の総失点数で除したものが高いほど高順位とする。
  - エ.イ、ウの計算を行ってもなお同順位がある場合、次の方法による。2チームの場合は、相互の試合の勝ちチームが上位となる。3チームの場合は、当該3チーム間で行われた試合のみを考慮したセット率(当該試合の得セットの総数を、失セットの総数で除したもの)、それでも並んだ場合は、ポイント率（当該試合の総得点数を総失点数で除したもの）の高いチームを上位とする。

(3) 全日本高等学校選手権大会岐阜県代表決定戦（県協会主催、10・11月）

- 県内の全チームによる完全トーナメントを行い、優勝チームは全国大会に出場する。
- 第1シードから第4シードまでは県高校総体の結果、1位～4位までをそのままの順にシードする。ベスト8は県高校総体でベスト8に入賞したチームを抽選でシードする。
- 第1日目にベスト8を決定し、第2日目は準々決勝、準決勝、最終日は決勝戦のみを行う。但し、出場チームが56チームを超える場合は4日間で実施することがある。シードチーム（ベスト8以上）は2回戦以降の出場となるよう組み合わせを配慮する。
- 準々決勝第2試合終了から40分後に各コート準決勝の試合のプロトコールにはいる。

(4) 県高校新人大会（県高体連主催、2月）

- 各地区代表チームからなる完全トーナメントを行う。

- ・全日本高等学校選手権岐阜県代表決定戦の1位・2位チームを、それぞれ第1シード、第2シードとする。第3・第4シードは同3位チームのうち年間ポイントの上位を第3シード、下位を第4シードとする。同点の場合は抽選を行う。
- ・第5～第8シードについては、年間ポイントの上位から4チームを点数の多い順にシードする。同点の場合は抽選を行う。
- ・年間ポイントについては、1年間の下記大会ベスト8以上入賞チームにポイントを与える。

大会	1位	2位	ベスト4	ベスト8
R4年度県総体(IH予選)	20点	10点	3位：6点   4位：4点	1点
R4年度全日本選手権県代表決定戦				1点

\*チャレンジカップの成績はポイントに含めない。

#### 7) 推薦チームについて

- (1) 東海高等学校総合体育大会（男女各3チーム R4.6/18.19）  
県高校総体（IH予選）1位、2位、3位を推薦する。
- (2) 中部日本6人制総合男女選手権大会高校の部（男女各2チーム R4.7/16.17）  
県高校総体（IH予選）1位、2位を推薦する。
- (3) 東海高等学校選抜大会（男女各4チーム R5.3/19.20）  
県新人大会ベスト4チームを推薦する。
- (4) 天皇杯・皇后杯全日本選手権大会県予選会（男女数チーム R4.7/24 北部体育館、北西部体育館）  
県高校総体（IH予選）上位チームから推薦する。

\*上記以外のチームを推薦する場合は、委員長、競技委員長、審判委員長が協議し決定する。

\*合同チームが対象となった場合は、推薦しない。

#### 8) 監督・コーチ等について

- (1) 監督：当該校の職員・社会人指導者・外部指導者  
コーチ：当該校の職員・社会人指導者・外部指導者  
マネージャー：当該校の職員・生徒
- (2) 当該校の職員以外の者が監督・コーチとなる場合は、年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。登録できるのは、各チーム監督またはコーチのどちらか一名に限る。
- (3) ベンチスタッフのうち必ず1名以上は、引率責任を負える者を置く必要がある。
- (4) ベンチスタッフを変更する場合は、必ず構成メンバー表の提出時に届ける。

	当該校職員	単独引率
教諭	○	○
常勤講師	○	○
実習助手（実習教諭を含む）	○	○
部活動指導員	○	○
非常勤講師（教科、特別教育活動担当）	○	×
事務	○	×
社会人指導者（運動部指導者派遣事業/年間24回）	×	×
上記に該当しない指導者	×	×

9) ベンチスタッフを職員(マネージャーは生徒を含む)で構成する場合について

「同じ学園内の異なる高等学校」「同じ高校内の全日制・定時制」間を兼務している場合は、学校長が同一であれば当該校の職員と認める。

10) 服装について(競技に出場するユニフォーム等についての申し合わせ)

(1) ベンチスタッフは統一されたウェアとする。ただし統一されていない場合には、いずれかがジャケットを着用する。生徒がマネージャーの場合は、運動のできる服装であればよい。

(2) 所定のマーク着用について

監督(監)、コーチ(C)、マネージャー(M)章は、明確に判別できる位置につけること。(左胸部が望ましい)

(3) ユニフォームのチーム表示は、学校名またはその略字とする。特に校章・代表地区名を加えることができる。個人名の表示は禁止する。番号の高さは胸番号15cm以上、背番号20cm以上とする。

(4) リベロプレーヤーは、他のプレーヤーとはっきり区別できるユニフォームを使用すること。

(5) ソックスはユニフォームの一部であるため、統一すること。(ベリーショートは禁止)

(6) アンダーシャツ・パワーパンツについては、ユニフォームからはみださないこと。

(7) 競技中、相手チームに悪い影響を与えるような形状・色彩は避けること。

(8) 競技に関し、危険・支障があると思われる装飾品等の着用は避けること。

(9) ユニフォームはシャツの裾をパンツの中に入れてプレーをすること。

\*上記申し合わせに違反があると大会役員が判断した場合、チームまたは選手に注意を促すこととし、監督、コーチ、マネージャーについてはベンチ入りが認められない。

11) 大会当日の練習時間等について

(1) 開場時間は8時30分とする。

(2) 開始式を行う場合の練習時間は、下記の時間配分を基本に大会ごとに設定する。

男子

女子

・8:30~8:50 第2・第4試合のチーム ・8:30~8:50 第2・第3試合のチーム

・8:50~9:10 第1・第3試合のチーム ・8:50~9:10 第1・第4試合のチーム

・9:10~ 代表者会議・開始式

・9:40~ 第1試合開始

\*試合が連続する場合は20分間の休憩時間を設け、その後プロトコールとする。ただし、県高校総体の決勝リーグ、選手権準決勝は40分間の休憩時間を設け、その後プロトコールとする。

\*第3試合までのチームは、必ず開始式に参加する。

\*開始式を行わない場合は、別途設定する。

12) 大会使用球について

男子ミカサ『V300W』、女子モルテン『V5M5000』を選手権大会まで使用し、新人大会からは、男子モルテン『V5M5000』、女子ミカサ『V300W』に切り替える。

13) ネットについて

男子:240cm 女子:220cmとする。ただし県高校総体の2日目と3日目、選手権大会の決勝日、新人大会の2日目の準決・決勝日は、男子:243cm 女子:224cmとする。

14) 給水タイムについて

県高校総体は気温上昇が予想され、熱中症予防の観点から、「給水のためのタイムアウト」(給水タイム)を採用する。

15) トレーナーについて

該当チームの試合中に限り、チームトレーナーがフロア面（コントロールエリア外）に降りることが出来る。コントロールエリア内、ウォームアップゾーンにいる選手に施術することはできない。チームへの戦術通達や応援をすることはできない。

チームにつき1名、チームトレーナーを参加申込時に申請書にて申請する。

トレーナー申請には、チームの学校長の承認を必要とする。

受付時に配付されるトレーナー専用のIDカードを着用しなければコート面に降りることはできない。

16) その他

- (1) 競技に関係のある場所以外への出入りを禁止する。
- (2) 高校会場での応援は2階のギャラリーを利用し、フロア、ステージ上からの応援は禁止する。また、高校会場での太鼓やハンドマイクの使用も禁止する。
- (3) 部旗、横断幕、のぼり等の位置・場所については競技に支障をきたさないように配慮し、競技中のチームを優先して掲げる。（高校会場でのギャラリーにのぼりを掲げることは禁止する）
- (4) 公共の体育館では太鼓、ハンドマイクの使用を認めるが指示は禁止する。
- (5) 県高校総体1日目、県新人大会1日目、選手権大会1、2日目の高校会場については、原則前の大会のベスト8以上のチームに依頼する。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、ガイドラインを踏まえた取り組み及びチームへのお願いについては別途連絡をする。